



校長だより(職員編)

呉市立阿賀小学校
安 宗 誠

「LSC」「繰り返し」「発展的」を地道に・徹底的に！

1 このたびの全国学力・学習状況調査で見られた主な課題

【国語1ー】他からの依頼に対する「紹介メモ」の特徴を読み取る。

「紹介メモ」の記述の1つ1つを丁寧に確認できていない。
「紹介メモ」の内容を全体的な雰囲気として感じ取ったことを解答にしている。

【国語2三ア・イ】文脈に沿って漢字を正しく書く。

「競技」の「競」の誤答。「投げる」の誤答。

【国語3二(2)】話し合いの様子の記事を丁寧に読み、話者の話を端的に捉える。

話者の話の1つ1つを丁寧に確認できていない。
話者が着目している話の視点を会話文から捉え、端的な言葉で置き換えることができていない。

【算数3(3)】直径が分かっているボールがぴったり入る箱の体積の立式をする。

球の直径が求める立方体の一辺であることをイメージできていない。
立方体の体積の公式を覚えていない。

【算数3(4)】五角柱の面の数を「底面」と「側面」という言葉とその数を使って説明する。

「底面」と「側面」の概念、特に「底面」の概念を正しく捉えていない。

【算数4(3)】同じ道のりでかかった時間の違う2人について、どちらが速いかを説明する。

道のりが同じことだけでは説明できていない。(かかった時間の多少の説明ができていない。)

2 領域別等の強みと弱み

【国語】○「読むこと」の領域や記述式問題が特に高水準であった。

○昨年度課題のあった「書くこと」は向上した。

●「話すこと・聞くこと」で、内容を端的に捉えることに課題が見られた。

【算数】○「数と計算」の領域や選択式問題が特に高水準であった。

●「図形」については昨年度同様課題が見られた。

●概念・定義・公式をしっかり捉え、それらを基にして記述による説明を行うことに課題が見られた。

3 このことから、見えてくる本校の課題は？

- 全体像を大体で捉えるだけに留まらず、捉えたことを別の言葉に置き換えてみる力を付ける必要がある。
- 漢字力を高める必要がある。
- 算数的な用語の概念、公式等をしっかり捉えさせる必要がある。
- 説明し切るために必要な要件を捉え、それらを落とさずに説明し切る力を付ける必要がある。

4 これらの改善を図るために大切なことは？

- ①授業等における Limit (制限する)&Shake (ゆさぶる)&Confirm (確かめさせる・実感させる) を地道に・徹底的に積み重ねていく。
- ②ドリル学習・ドリルタイム(繰り返し学習)を地道に・徹底的に積み重ねていく。
- ③「発展的だと認められる振り返りに到達する授業」を地道に・徹底的に積み重ねていく。